

受 付 番 号	202410		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111362 号		
研究課題名	コミュニティにおけるがん体験者との対話のパターン・ランゲージの開発		
研究責任者	田村 恵子	申 請 者	田村 恵子
研究終了日	2026 年 3 月 31 日		
所 属	大学院看護学研究科 開設準備室	所 属	大学院看護学研究科 開設準備室
職 名	専任教授	職 名	専任教授

申請の概要

高齢多死社会を迎えた日本では、生老病死を支え合うための革新的なコミュニティの構築を目指す必要があり、それには社会的なつながりを作り、互いを思いやることのできる **Compassionate Community(CC)** の概念が有用となる。日本において生老病死を支え合う CC を創成するためには、生老病死という自分一人では解決できない課題を他者とともに探求する必要があるため、対話が重要となる。そのため、本研究はコミュニティで実践されているがん体験者との対話の実践知（対話をする上での心得やコツ）を可視化するために、対話的支援活動に従事する熟練者を対象として、マイニング・インタビューを実施することにより、コミュニティにおけるがん体験者との対話のパターン・ランゲージを開発することを目的とする。本研究によりコミュニティにおけるがん体験者との対話のパターン・ランゲージを開発し、がん体験者との対話に熟達した人の実践知を可視化することができれば、対話を基盤とする支援活動の全国への波及効果が期待される。